
**フォローアップ業務に関する
認識調査
分析結果・考察**

「フォローアップ業務に関する認識調査」と分析結果の照合

「認識調査」質問3

- 多機関との連携や地域のネットワークが上手く活用できて、1年程度でフォローアップが終了した事例はありますか。
 - ・認識調査：46センター中27センター（58.7%）が「有」と回答。
 - ・分析結果：フォローアップ日数の中央値（50%値）は「560.00日（約1年半）」であり「認識調査」における各センターの実感に比較的近い値が示されている。

<考察>

- 「認識調査」と「分析結果」の傾向がおおむね符合している。

「認識調査」質問3-2

- どのような機関やネットワークと連携して、フォローアップが円滑に終了できましたか？
 - ・認識調査：相談支援事業所・地域包括支援センター・ケアマネージャーを中心に、障害者グループホーム・各種老人ホーム、就労支援事業所等、何らかの福祉サービスや事業所につながった場合に、フォローアップ業務を円滑に終了させることができたとは回答。
 - ・分析結果：「相談支援事業所」「障害福祉サービス通所系」「障害福祉サービス居住系」「介護保険サービス居住系」「日常生活自立支援事業」「精神科病院」の利用がある者は、そうでない者に比べてフォローアップ期間が長くなる傾向がある。

<考察>

- 「認識調査」と分析結果の傾向は必ずしも一致しない。
- 「認識調査」では終了の基準として「期間」(21.4%)や「引継体制有」(42.9%)に回答が集まっていたが「特に連絡がない場合」や「状況を見ながら」といった留保が付いているものがあり、なおかつ調査対象期間を限定しなかったこともあって、基準に合致した少ないケースが回答に挙がり、上記のような結果になったものと思われる。
- 分析結果によれば「他機関連携により支援の軸が移ったため終了」は度数557名、46.53%である。しかし終了までに要した期間のうち1年程度の期間が分布するのは25%値(431.00日)であり、多くは2～3年程度の期間を要している。したがって、1年程度で他機関に引き継ぐことのできた事例も確かにあるが、全体的な傾向の中では少数と思われる。

「認識調査」質問4

- 多機関との連携や地域のネットワークが上手く活用できず、フォローアップが2年以上終了していない事例はありますか。
 - ・認識調査：46センター中30センター（65.2%）が「有」と回答。
 - ・分析結果：フォローアップ日数の75%値は「1,165.50日」であり「認識調査」における各センターの実感に比較的近い値が示されている。

<考察>

- 「認識調査」と「分析結果」の傾向がおおむね符合している。

「認識調査」質問4-3

- 多機関やネットワークとの連携が円滑にできなかった理由は何ですか。
 - ・認識調査：46 センター中 26 センター（86.7%）が「関係機関の協力が得られない」と回答。
 - ・分析結果：「多機関連携により支援の軸が移った」を終了理由とする者は、そうでない者よりフォローアップ日数が長くなる傾向にある（中央値（861,00 日）、75%値（1,531.00 日）ともに 2 倍程度の開き）。

<考察>

- 「多機関連携により支援の軸が移った」にも関わらずフォローアップ期間が長いのは、それだけの時間をかけて引き継ぎ先を見つけたということであり、「認識調査」と「分析結果」の傾向がおおむね符合する。

「認識調査」質問5

- 多機関との連携や地域のネットワークが上手くいっているが、フォローアップが 2 年以上終了していない事例はありますか。
 - ・認識調査：46 センター中 36 センター（78.3%）が「有」と回答。
 - ・分析結果：フォローアップ日数の 75%値は「1,165.50 日」であり、「認識調査」における各センターの実感に比較的近い値が示されている。

<考察>

- 「認識調査」と「分析結果」の傾向がおおむね符合している。

「認識調査」質問5-2

- フォローアップを終了できない理由について
 - ・認識調査：複数回答ながら 46 センター中 34 センター（94.4%）が「受入施設等へのバックアップの為」と回答。
 - ・分析結果：定着支援センターが「状況確認」「支援会議」「家事援助」「送迎支援」「無断外出対応」、「ルール違反对応」「定期面談」「助言」について「支援した者」は、そうでない者よりフォローアップ日数が長くなる傾向にある。これを頻度別に見ると、「月に 1 回程度」「月に 2 回程度」「月に 3 回程度」「月に 4 回程度」「月に 5 回以上」支援している者は、そうでない者よりフォローアップ期間が短くなる傾向にあり、逆に「年に 1 回程度」「年に 2 回程度」「年に 6 回程度」支援している場合は長くなる傾向にある。

<考察>

- フォローアップ業務の見守りの支援は長期化する傾向があるということから、「認識調査」と「分析結果」の傾向がおおむね符合している。

提 言

【提言】～フォローアップ業務の効率化のために～

定着支援センターの対応を担うことができる社会資源の機能拡充と周知啓発について

分析及び考察において、フォローアップ業務には2段階の段階があることが明らかとなった。帰住先を調整し必要な支援を整える第1段階、帰住先を含む環境調整後に対象者の「見守り」を行う第2段階である。また、第1段階にて他機関へ支援の軸を移しフォローアップ業務を終了するために要する期間はおおむね1年半程度であるが、この期間のうちに支援の橋渡しができないとフォローアップ期間が長期化する傾向があることも分かってきた。

以上のことから、フォローアップ業務の効率化のためには、定着支援センターが第1の段階で、どこまで他機関を巻き込み、担うべき役割を分担できるかが重要と思われる。第2段階に移った後も支援の軸となる機関を探し、当該機関へ受け渡すことが求められるのではないかな。

とはいえ、定着支援センターに支援上の役割が集中し、支援の引き継ぎが簡単には進まない状況が生まれているのも分析から明らかである。具体的には、無断外出対応、ルール違反対応、対人関係対応といったトラブル全般の対応から、金銭管理や家事援助、施設入所や賃貸契約等における身元引受的な役割といった生活支援に類するものまで広範な支援を担っている。

こうした現状の背景には、大きく「対象者」側の課題と「支援者」側の課題が考えられる。

「対象者」側の課題は、問題性が高く対応困難な場合、支援者が関与を敬遠することである。そのため定着支援センターが唯一の支援者として関与せざるを得ず、必然的に業務量の増大とフォローアップ期間の長期化を招く。

「支援者」側の課題は、次のように分解することが可能である。まず、定着支援センターの支援を、年齢や障害の有無、制度上のサービスの利用有無に関わりなく、地域で安定した生活を営む上で何らかの福祉的支援を必要とする対象者への支援を引き受け、伴走的に関与し続けることのできる相談支援機関が他にないこと。次に、帰住先施設等が身元引受的な対応を求めることのできる、年齢や障害の有無等を問わない包括的な制度がない。最後に、再調整や緩衝等で帰住先の調整が必要となった際に、そのノウハウを有しているのが定着支援センターのみである。さらには、多機関連携体制を構築したとしても、支援全体の調整役としての役割が定着支援センターに求められるため、支援の中心から抜けられないといった事情もある。

したがって、これらの課題を認識した上で、社会資源を「結合」し、「創出」するための施策を講じていくことが、フォローアップ業務の効率化に向けた重要な一歩になると考えられる。

「結合」と「創出」のために必要なことは何か。まず、居住支援が中心となるような対象者については、居住支援協議会や居住支援法人との連携を強化する必要がある。また、定着支援センターと同様に、社会資源のコーディネートを行う基幹相談支援センターや地域包括支援センターとの連携強化が求められる。最後に、行政の関与については、重層的支援体制整備事業との連携を図り、上記のような定着支援センターが抱える課題をどう分担していくか、支援実績の積み重ねが必要ではないか。こうした取り組みが、フォローアップ業務の効率化を進める上で必要な政策的方向性であると思われる。

(参考資料) アンケート原本

フォローアップ業務実態調査チーム アンケート

調査対象者：一般調整・特別調整のフォローアップ対象者全員(令和元年度～令和2年度)
 ※年度内終了者含む。
 ※継続中の場合は、すべての項目について、令和3年3月31日時点の状況を記載する。
 ※終了者の場合は、すべての項目について、終了日時点の状況を記載する。

具体的に内容の記載をしてください
 西暦(半角)で記載してください。(例:2020/9/1)
 数字(半角)のみ記載してください。
 該当箇所1を記載してください。(択一)どちらかに必ず1を記載してください。
 他項目を入力することで、自動で入力されます。数式を入れているので、触らないようにお願いします。
 該当箇所1を記載してください。(複数回答可)最低1項目には1を記載してください。
 項目ごと1該当する場合は1を記載してください。
 回答方法に記載した方法に基づき記載してください。
 ※該当・有:1、非該当・無:空白で記載してください。

質問数	大項目	中項目	小項目	回答方法
1	基本情報	基本情報	氏名(イニシャル)	具体的に記載
2			支援開始日	西暦で記載(例:2020/9/1)
3			生年月日	西暦で記載(例:2020/9/1)
4		相談時年齢	数字を記載	
5		性別	男性 女性	該当箇所に1を記載(択一)
6		カテゴリー	特別調整 一般調整	該当箇所に1を記載(択一)
7	フォローアップ期間	フォローアップ期間	フォローアップ開始日(コード終了日)	西暦で記載(例:2020/9/1)
8			フォローアップ終了日	西暦で記載(例:2020/9/1)、継続中は2021/4/1と記載
			フォローアップ期間(具体的期間)	自動入力(触らない)
			フォローアップ継続中	自動入力(触らない)
9	刑期終了日	刑期終了日	刑期終了日	西暦で記載(例:2020/9/1)
10	仮釈放日	仮釈放日	仮釈放日	西暦で記載(例:2020/9/1)、満期は記載なし
11	移行回数	移行回数	移行回数	数字を記載
12	移行先(1回目)	移行日(1回目)	移1_移行日	西暦で記載(例:2020/9/1)
		移1_更生保護施設	該当箇所に1を記載(択一)	
		移1_自立準備ホーム		
		移1_自宅_アパート		
		移1_公営住宅		
		移1_障がい者支援施設		
		移1_障がい者グループホーム		
		移1_病院		
		移1_日常生活支援住居施設		
		移1_生活保護施設		
		移1_サービス付き高齢者住宅		
		移1_小規模多機能型居宅介護施設		
		移1_認知症グループホーム		
		移1_養護老人ホーム		
移1_有料老人ホーム				
移1_特別養護老人ホーム				
移1_無料低額宿泊所・簡易宿泊所				
移1_その他				
14	移行日(2回目)	移2_移行日	西暦で記載(例:2020/9/1)、移2_移行なしの場合は記載なし	
15	移行先(2回目)	移2_移行なし	該当箇所に1を記載(択一)	
		移2_更生保護施設		
		移2_自立準備ホーム		
		移2_自宅_アパート		
		移2_公営住宅		
		移2_障がい者支援施設		
		移2_障がい者グループホーム		
		移2_病院		
		移2_日常生活支援住居施設		
		移2_生活保護施設		
		移2_サービス付き高齢者住宅		
		移2_小規模多機能型居宅介護施設		
		移2_認知症グループホーム		
		移2_養護老人ホーム		
移2_有料老人ホーム				
移2_特別養護老人ホーム				
移2_無料低額宿泊所・簡易宿泊所				
移2_その他				
16	移行日(3回目)	移3_移行日	西暦で記載(例:2020/9/1)、移3_移行なしの場合は記載なし	
17	移行先(3回目)	移3_移行なし	該当箇所に1を記載(択一)	
		移3_更生保護施設		
		移3_自立準備ホーム		
		移3_自宅_アパート		
		移3_公営住宅		
		移3_障がい者支援施設		
		移3_障がい者グループホーム		
		移3_病院		
		移3_日常生活支援住居施設		
		移3_生活保護施設		
		移3_サービス付き高齢者住宅		
		移3_小規模多機能型居宅介護施設		
		移3_認知症グループホーム		
		移3_養護老人ホーム		
移3_有料老人ホーム				
移3_特別養護老人ホーム				
移3_無料低額宿泊所・簡易宿泊所				
移3_その他				
18	移行日(4回目)	移4_移行日	西暦で記載(例:2020/9/1)、移4_移行なしの場合は記載なし	
19	移行先(4回目)	移4_移行なし	該当箇所に1を記載(択一)	
		移4_更生保護施設		
		移4_自立準備ホーム		
		移4_自宅_アパート		
		移4_公営住宅		
		移4_障がい者支援施設		
		移4_障がい者グループホーム		
		移4_病院		
		移4_日常生活支援住居施設		
		移4_生活保護施設		
		移4_サービス付き高齢者住宅		
		移4_小規模多機能型居宅介護施設		
		移4_認知症グループホーム		
		移4_養護老人ホーム		
移4_有料老人ホーム				
移4_特別養護老人ホーム				
移4_無料低額宿泊所・簡易宿泊所				
移4_その他				
20	移行日(5回目)	移5_移行日	西暦で記載(例:2020/9/1)、移5_移行なしの場合は記載なし	

21		移行先(5回目)	移5_移行なし 移5_更生保護施設 移5_自立準備ホーム 移5_自宅_アパート 移5_公営住宅 移5_障がい者支援施設 移5_障がい者グループホーム 移5_病院 移5_日常生活支援住居施設 移5_生活保護施設 移5_サービス付き高齢者住宅 移5_小規模多機能型居宅介護施設 移5_認知症グループホーム 移5_養護老人ホーム 移5_有料老人ホーム 移5_特別養護老人ホーム 移5_無料低額宿泊所・簡易宿泊所 移5_その他	該当箇所に1を記載(択一)
22	終了事由	終了事由	終了_他県定着 終了_県外移行_他定関与_無 終了_多機関連携により支援の軸が移ったため 終了_支援辞退 終了_再犯再入所 終了_所在不明 終了_死亡_フォロー期間 終了_その他	該当箇所に1を記載(択一)
23	再犯	再犯	再犯の有無 再犯日の把握 再犯の逮捕日 再犯期間	有の場合1を記入。無は記入無。 把握している場合、1を記載。把握していない場合は記入無。 西暦で記載(例:2020/9/1)(終了_再犯再入所の場合のみ) 自動入力(触らない)
24	現在の居所	現在の居所	現_更生保護施設 現_自立準備ホーム 現_自宅_アパート 現_公営住宅 現_障がい者支援施設 現_障がい者グループホーム 現_病院 現_日常生活支援住居施設 現_救護施設 現_サービス付き高齢者住宅 現_小規模多機能型居宅介護施設 現_認知症グループホーム 現_養護老人ホーム 現_有料老人ホーム 現_特別養護老人ホーム 現_無料低額宿泊所・簡易宿泊所 現_その他	該当箇所に1を記載(択一) 終了者の場合は記載なし。
25	IQ	IQ	IQ(CAPAS: IQ相当値含む)	数字を記載
26		身体障がい	身体なし 身体疑い 身体確定 身体等級_1 身体等級_2 身体等級_3 身体等級_4 身体等級_5 身体等級_6 身体等級_7	該当箇所に1を記載(択一) 確定(手帳所持)の場合、該当箇所に1を記載(択一)
			知的障がい	知的なし 知的疑い 知的確定 知的_軽度 知的_中度 知的_重度
28		精神障がい	精神なし 精神疑い 精神確定 精神等級_1 精神等級_2 精神等級_3	該当箇所に1を記載(択一) 確定(手帳所持)の場合、該当箇所に1を記載(択一)
			発達障がい	発達なし 発達疑い 発達確定
30	認知症	認知症	認知なし 認知疑い 認知確定	該当箇所に1を記載(択一)
31	薬物	薬物	薬物なし 薬物前歴 薬物今犯	該当箇所に1を記載(択一)
32	矯正施設入所度数	入所度数	入所度数	数字を記載
33	罪名	罪名	窃盗 詐欺 強制わいせつ 覚醒剤取締法 毒物及び劇物取締法 薬物事犯_詳細不明 医薬品医療機器等法違反 傷害_暴行等 放火_未遂含む 住居_建造物侵入 器物破損_損壊 銃刀法違反 道交法違反 殺人_未遂含む 強盗_未遂含む 強制性交等_未遂含む 恐喝 公務執行妨害 暴行等防止条例 横領 有印私文書偽造_同行使 ストーカー規制法 児童福祉法違反 青少年健全育成条例違反 偽計業務妨害 騒音罪法 関税法違反 罪名なし_ぐ犯	該当箇所に1を記載(複数回答可)

34	定着の支援内容(役割)・頻度	定着の支援内容: 状況確認(見守り)の為の訪問 面談	状況確認_実施していない 状況確認_年に1回程度 状況確認_年に2回程度 状況確認_年に4回程度 状況確認_年に6回程度 状況確認_月に1回程度 状況確認_月に2回程度 状況確認_月に4回程度 状況確認_月に5回以上	該当箇所に1を記載(択一)
35		定着の支援内容: 行政手続きの代行又は同行支 援	行政手続き_実施していない 行政手続き_年に1回程度 行政手続き_年に2回程度 行政手続き_年に4回程度 行政手続き_年に6回程度 行政手続き_月に1回程度 行政手続き_月に2回程度 行政手続き_月に4回程度 行政手続き_月に5回以上	該当箇所に1を記載(択一)
36		定着の支援内容: 支援会議の招集・主催	支援会議_実施していない 支援会議_年に1回程度 支援会議_年に2回程度 支援会議_年に4回程度 支援会議_年に6回程度 支援会議_月に1回程度 支援会議_月に2回程度 支援会議_月に4回程度 支援会議_月に5回以上	該当箇所に1を記載(択一)
37		定着の支援内容: 一時帰宅先の調整(緩衝)	緩衝_実施していない 緩衝_年に1回程度 緩衝_年に2回程度 緩衝_年に4回程度 緩衝_年に6回程度 緩衝_月に1回程度 緩衝_月に2回程度 緩衝_月に4回程度 緩衝_月に5回以上	該当箇所に1を記載(択一)
38		定着の支援内容: ミスマッチによる生活環境の再 調整	再調整_実施していない 再調整_年に1回程度 再調整_年に2回程度 再調整_年に4回程度 再調整_年に6回程度 再調整_月に1回程度 再調整_月に2回程度 再調整_月に4回程度 再調整_月に5回以上	該当箇所に1を記載(択一) ※ご本人の希望が変わり、別の場所(サービス)での生活を希望 したり、老化等で現在の生活が維持できなくなった場合。
39		定着の支援内容: 金銭管理(日常生活自立支援)	金銭管理_実施していない 金銭管理_年に1回程度 金銭管理_年に2回程度 金銭管理_年に4回程度 金銭管理_年に6回程度 金銭管理_月に1回程度 金銭管理_月に2回程度 金銭管理_月に4回程度 金銭管理_月に5回以上	該当箇所に1を記載(択一)
40		定着の支援内容: 家事援助(日常生活支援)	家事援助_実施していない 家事援助_年に1回程度 家事援助_年に2回程度 家事援助_年に4回程度 家事援助_年に6回程度 家事援助_月に1回程度 家事援助_月に2回程度 家事援助_月に4回程度 家事援助_月に5回以上	該当箇所に1を記載(択一)
41		定着の支援内容: 送迎支援(通院等)	送迎支援_実施していない 送迎支援_年に1回程度 送迎支援_年に2回程度 送迎支援_年に4回程度 送迎支援_年に6回程度 送迎支援_月に1回程度 送迎支援_月に2回程度 送迎支援_月に4回程度 送迎支援_月に5回以上	該当箇所に1を記載(択一)
42		定着の支援内容: 入退院時の手続き及び本人付 き添い	入退院_実施していない 入退院_年に1回程度 入退院_年に2回程度 入退院_年に4回程度 入退院_年に6回程度 入退院_月に1回程度 入退院_月に2回程度 入退院_月に4回程度 入退院_月に5回以上	該当箇所に1を記載(択一)
43		定着の支援内容: トラブル対応(無断外出)	無断外出_実施していない 無断外出_年に1回程度 無断外出_年に2回程度 無断外出_年に4回程度 無断外出_年に6回程度 無断外出_月に1回程度 無断外出_月に2回程度 無断外出_月に4回程度 無断外出_月に5回以上	該当箇所に1を記載(択一)
44		定着の支援内容: トラブル対応(対人関係)	対人関係_実施していない 対人関係_年に1回程度 対人関係_年に2回程度 対人関係_年に4回程度 対人関係_年に6回程度 対人関係_月に1回程度 対人関係_月に2回程度 対人関係_月に4回程度 対人関係_月に5回以上	該当箇所に1を記載(択一)
45		定着の支援内容: トラブル対応(ルール違反)	ルール違反_実施していない ルール違反_年に1回程度 ルール違反_年に2回程度 ルール違反_年に4回程度 ルール違反_年に6回程度 ルール違反_月に1回程度 ルール違反_月に2回程度 ルール違反_月に4回程度 ルール違反_月に5回以上	該当箇所に1を記載(択一) ※例えば、喫煙場所の指定や自室への異性の連れ込み等、そ れぞれの施設で独自に決められている生活上のルールに違反し た際に、施設のみでの対応ではなく、定着として訪問や面談等の 本人への対応を求められた場合(移行調整を除く)を想定してい ます。

46	定着の支援内容: 本人の定期的な面談	定期面談_実施していない	該当箇所に1を記載(択一)			
		定期面談_年に1回程度				
		定期面談_年に2回程度				
		定期面談_年に4回程度				
		定期面談_年に6回程度				
		定期面談_月に1回程度				
		定期面談_月に2回程度				
		定期面談_月に4回程度				
47	定着の支援内容: 受入れ事業所からの相談に対応(助言)	助言_実施していない	該当箇所に1を記載(択一)			
		助言_年に1回程度				
		助言_年に2回程度				
		助言_年に4回程度				
		助言_年に6回程度				
		助言_月に1回程度				
		助言_月に2回程度				
		助言_月に4回程度				
48	定着の支援内容: 電話対応(本人)	電話_実施していない	該当箇所に1を記載(択一)			
		電話_年に1回程度				
		電話_年に2回程度				
		電話_年に4回程度				
		電話_年に6回程度				
		電話_月に1回程度				
		電話_月に2回程度				
		電話_月に4回程度				
49	定着の支援内容: 緊急連絡先・身元引受	緊急連絡先の登録	担っている場合は1を記載(項目ごとに記載)			
		手術時の同意				
		入退院時の保証人				
		施設等入居時				
		アパート等入居時				
		警察対応				
		死後対応				
		50		インフォーマル:親	親_関与	有の場合は1を記載(項目ごとに記載)
親_物理的関与(支援)						
親_情緒的関与(支え)						
親_関与による負の影響						
51	インフォーマル:子		子_関与		有の場合は1を記載(項目ごとに記載)	
			子_物理的関与(支援)			
			子_情緒的関与(支え)			
			子_関与による負の影響			
		52	インフォーマル:親族	親族_関与		有の場合は1を記載(項目ごとに記載)
				親族_物理的関与(支援)		
				親族_情緒的関与(支え)		
				親族_関与による負の影響		
53	インフォーマル:友人・知人			友人・知人_関与	有の場合は1を記載(項目ごとに記載)	
				友人・知人_物理的関与(支援)		
				友人・知人_情緒的関与(支え)		
				友人・知人_関与による負の影響		
		54	インフォーマル:恋人	恋人_関与		有の場合は1を記載(項目ごとに記載)
				恋人_物理的関与(支援)		
				恋人_情緒的関与(支え)		
				恋人_関与による負の影響		
55	インフォーマル:配偶者			配偶者_関与	有の場合は1を記載(項目ごとに記載)	
				配偶者_物理的関与(支援)		
				配偶者_情緒的関与(支え)		
				配偶者_関与による負の影響		
		56	インフォーマル:地域住民	地域住民_関与		有の場合は1を記載(項目ごとに記載)
				地域住民_物理的関与(支援)		
				地域住民_情緒的関与(支え)		
				地域住民_関与による負の影響		
57	インフォーマル:社会参加			社会参加_関与	有の場合は1を記載(項目ごとに記載)	
				社会参加_物理的関与(支援)		
				社会参加_情緒的関与(支え)		
				社会参加_関与による負の影響		
		58	関係機関との連携	関係機関:福祉		有の場合は1を記載(項目ごとに記載)
				成年後見制度の利用		
				相談支援事業所の利用		
				障害福祉サービス(通所系)の利用		
障害福祉サービス(訪問系)の利用						
障害福祉サービス(居住系)の利用						
包括支援センターの利用						
居宅介護支援事業所(ケアマネ)の利用						
59	関係機関:医療	関係機関:医療	有の場合は1を記載(項目ごとに記載)			
		精神科病院の利用				
		訪問看護の利用				
		60		収入状況	収入状況	有の場合は1を記載(項目ごとに記載)
					生活保護	
					障害年金	
					老齢年金	
					その他年金	
就労収入(一般企業)						
就労収入(福祉的就労)						

厚生労働省 令和3年度生活困窮者就労準備支援事業費等補助金 社会福祉推進事業

「罪を犯した障害者・高齢者等の地域生活における支援ネットワークの強化と支援の効率化に向けた、
多機関連携による伴走的な支援体制の構築に関する調査研究事業」

フォローアップ業務実態調査チーム 報告書

編集・発行 一般社団法人 全国地域生活定着支援センター協議会

代表理事 高原 伸幸

〒854-0001 長崎県諫早市福田町 357-1

TEL : 0957-23-1332

FAX : 0957-24-1330

URL: <http://zenteikyo.org/>

発行日 令和4年3月31日